

2022 年度学部学生発表奨励賞

最優秀賞

「動画コンテンツを用いた情報発信の可能性
—道の駅「ねごろ歴史の丘」を事例に—」

和歌山大学観光学部 宮井凜晴／大山梨央／五味晴香／杉本情／諏訪葉瑠奈／
東美玖／上山歌奈子／淡路颯馬／坂本七海／皿澤彩夏／西嶋大喜

優秀賞

「Exploring legacies of the 1970 Osaka EXPO: A newspaper analysis」

和歌山大学観光学部 望月なぎさ

<講評>

本年度は、合計 12 のポスターが提出されました。

今年度もコロナの影響でオンライン開催となったため、学生の皆さんはポスター作成に加えて、オンラインでのポスター紹介と質疑という 2 つの対応で大変だったと思いますが、皆さん見事に対応してくれました。

今年度のポスター発表の特徴として、以下の 2 点が挙げられます。

1 点目としては、平和学習、LGBT、震災復興、外国人労働者など、社会的課題を取り上げた報告が一定数を占めました。これは観光を学ぶ学生たちの関心の広がりを示すものかと思われまます。

2 点目としては、海外を対象としたものでは韓国を取り上げた発表が 2 つあり、観光における韓国の「身近さ」が感じられる一方、コロナで海外旅行が困難な時期の学生さんたちにとっての研究上の制約も感じられました。

さて今大会のポスター発表には、104 人の方が投票してくださり、その結果、最優秀賞 1 点と優秀賞 1 点が選ばれました。

最優秀賞「動画コンテンツを用いた情報発信の可能性 —道の駅「ねごろ歴史の丘」を事例に—」は、短い動画コンテンツに注目し、実際にそれを作成して研究対象とした実践的研究です。分析対象を動画視聴前後の変化だけではなく、パンフレットの閲覧前後の変化も比較対象として用いたこと、またアンケート結果をテキストマイニングを使用して分析したことなど、アンケートの取り方や考察方法にも工夫が見られました。また今回の研究は旅行者が情報を収集する方法とイメージ形成の関係についての考察でしたが、その上で旅行者がどのように行動するかという点を今後の課題に挙げておられ、大きな研究へと発展する可能性を感じるものでした。ポスターもよく整理されておりとても見やすいものでした。

優秀賞「Exploring legacies of the 1970 Osaka EXPO: A newspaper analysis」は、新聞

をデータとして用いて、大阪万博のレガシーに関して調査分析した結果をまとめたもので、調査手法、結果は興味深く、ポスターもわかりやすくデザインされていました。レガシー研究の動向が丁寧に整理されていた点や、英語での口頭発表、ポスター作成に挑戦した点も高く評価できました。これも今後の研究上の進展が楽しみな報告でした。

昨年に引き続き、コロナ禍で観光行動自体が大きな制限を受けるなか、短い期間・時間で研究する学生さん、また指導する先生方の苦労もひとしおであったと思われます。そうしたことが、エントリー大学数が昨年より減少したことと関係があるかもしれません。しかしそうした困難のなかでも充実したポスターがたくさん提出されたことをここに記し、あらためて皆さんの健闘を称えたいと思います。また、最後になりましたが、投票いただいた多くの参加者の皆様にも感謝申し上げます。(企画広報委員会)